



プログラム

Opening Remarks 8:55～9:00 第1会場

矢野 真吾 (東京慈恵会医科大学附属病院)

モーニングセミナー 1 9:00～9:50 第1会場

座長：服部 憲路 (昭和大学医学部内科学講座 血液内科学部門)

「FLT3 陽性 AML に対する Gilteritinib を用いた治療戦略～造血幹細胞移植をふまえて～」

演者：西田 彩 (虎の門病院 血液内科)

共催：アステラス製薬株式会社

貧血・出血性疾患① 10:00～10:50 第1会場

座長：小笠原 洋治 (東京慈恵会医科大学附属第三病院 中央検査部/腫瘍・血液内科)

1. 続発性鉄過剰症を合併した寒冷凝集素症例に対するスチムリマブの有効性
水戸部 正樹 (新潟県立新発田病院 血液内科)
2. rATG+CsA+EPAG 療法開始後、約 2 年後に輸血依存状態を離脱した最重症型再生不良性貧血
原田 拓実 (武蔵野赤十字病院 血液内科)
3. 血栓性血小板減少性紫斑病 (TTP) との鑑別に苦慮し血漿交換を施行した巨赤芽球性貧血の 1 例
本間 純 (新潟県立新発田病院 血液内科)
4. COVID-19 感染を契機に再燃した超高齢者 aTTP の 1 例
吉川 愛 (東邦大学医療センター大森病院 血液・腫瘍科)
5. HIV 感染を契機に重度 HIV 関連血小板減少症を発症した 1 例
津島 隆史 (成田赤十字病院 血液腫瘍科)

骨髄腫と類縁疾患 11:00～12:00 第1会場

座長：中世古 知昭 (国際医療福祉大学医学部 血液内科学)

6. 胸腹水貯留を契機に診断された多発性骨髄腫の 1 例
黒崎 祥子 (横浜南共済病院)
7. 高カルシウム血症と多発骨病変を伴った IgM 型多発性骨髄腫
河西 茂樹 (山梨大学医学部 血液・腫瘍内科)
8. 中枢神経再発に対する治療後に、外陰部に髄外病変を認めた多発性骨髄腫
杉田 祥太郎 (日本赤十字社医療センター 血液内科)

9. 骨髄形態所見のみを根拠として診断及び治療に至った非分泌型多発性骨髄腫

中野 裕史 (永寿総合病院 血液内科)

10. Daratumumab を用いて初期治療を行った, IgE 型多発性骨髄腫

古木 柊佳 (那須赤十字病院 血液内科)

11. 低悪性度 B 細胞性リンパ腫から形質細胞腫瘍への組織学的形質転換

伊藤 謙一 (独立行政法人国立病院機構災害医療センター 血液内科)

ランチョンセミナー 1 12:10 ~ 13:00

第 1 会場

座長: 藤澤 信 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 血液内科)

「CML 治療におけるアシミニブの位置づけ」

演者: 松村 到 (近畿大学医学部 血液・膠原病内科)

共催: ノバルティスファーマ株式会社

特別講演 13:30 ~ 14:20

第 1 会場

座長: 矢野 真吾 (東京慈恵会医科大学附属病院)

「ドナー確保と年齢の壁に挑んで」

演者: 谷口 修一 (浜の町病院)

共催: シンバイオ製薬株式会社

MPN・CML 14:30 ~ 15:20

第 1 会場

座長: 齋藤 健 (東京慈恵会医科大学附属病院 腫瘍・血液内科)

12. 妊娠 10 週の検査で CML と診断され, 無治療経過観察により女児を出産した症例

田中 佑弥 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 血液内科)

13. 慢性骨髄性白血病に対するダサチニブ投与中に低カルシウム血症をきたした 1 例

坂本 風紗 (市立川崎病院 内科・総合内科)

14. 2 剤以上のチロシンキナーゼ阻害薬に不耐容で, STAMP 阻害薬アシミニブを使用した高年齢の CML2 例

小澤 征紀 (国立国際医療研究センター病院 血液内科)

15. チロシンキナーゼ阻害薬による加療中に骨髄異形成症候群を来した慢性骨髄性白血病の 1 例

小林 周平 (まつもと医療センター 血液内科)

16. 2 剤の TKI と asciminib に不耐容で急性転化後に臍帯血移植を施行した CML-BC の症例

黒岩 魁 (昭和大学病院 血液内科)

座長：齋藤 健（東京慈恵会医科大学附属病院 腫瘍・血液内科）

〔講演1〕「Functional-dead な BCR-ABL を考える」

〔講演2〕「TFR を考慮した CML の治療戦略」

演者：〔講演1〕 湯田 淳一郎（国立がん研究センター東病院 血液腫瘍科）

演者：〔講演2〕 藤巻 克通（藤沢市民病院 血液内科）

共催：大塚製薬株式会社

座長：山本 久史（虎の門病院 血液内科）

17. 慢性移植片対宿主病の食道狭窄病変に対して内視鏡的バルーン拡張術が有効であった1例

関口 恵理華（慶應義塾大学医学部 血液内科）

18. 肝中心静脈閉塞症の診断, 評価に HokUS-10 が有用であった自家造血幹細胞移植の2例

阿久澤 有（獨協医科大学埼玉医療センター 糖尿病内分泌・血液内科）

19. 早期胃がんを併発した難治性急性骨髄性白血病に対し同種移植を先行させ待機的に外科的切除術を施行した症例

小西 宏明（神奈川県立がんセンター 血液腫瘍内科）

20. 再発時に PTPN11 変異が検出され, クローン交代を認めた FLT3-ITD 変異陽性急性骨髄性白血病

栗原 一也（がん・感染症センター都立駒込病院 血液内科）

21. 同種移植後の髄外再発に対しベネトクラクス+アザシチジン療法 (VEN+AZA) が有効であった AML 症例

竹田 喬亮（藤沢市民病院 血液内科）

座長：清水 啓明（がん・感染症センター都立駒込病院 血液内科）

22. マルチプレックス PCR 法による髄膜炎・脳炎パネルにより発症早期に診断し得た臍帯血移植後 HHV6 脳炎

森山 充（東京医科大学病院）

23. 移植後リンパ増殖性疾患の治療中に出現し MRI で Gd 造影陰性が診断の契機となった進行性多巣性白質脳症

駒場 渉（長野赤十字病院 血液内科）

24. 自家移植後再発リンパ腫に対し polatuzumab vedtin を含む治療後同種移植を施行し得た1例

鈴木 黎（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 血液内科）

25. EBV 関連血球貪食症候群の加療 27 年後に節外性 NK/T 細胞リンパ腫を発症し、ハプロ移植を施行した 1 例

野村 侑里 (獨協医科大学病院臨床研修センター)

26. 劇症型再生不良性貧血に対して HLA 半合致末梢血幹細胞移植を実施した 1 例

開沼 彩香 (総合病院国保旭中央病院 血液内科)

イブニングセミナー 1 18:30 ~ 19:20

第 1 会場

座長：内田 直之 (虎の門病院 血液内科)

〔臍帯血移植における課題と対策 ―真菌感染管理も含めて―〕

演者：高橋 聡 (東京大学医科学研究所 臨床精密研究基盤社会連携研究部門)

共催：旭化成ファーマ株式会社

モーニングセミナー 2 9:00 ~ 9:50

第 2 会場

座長：山口 博樹 (日本医科大学大学院医学研究科 血液内科学)

〔講演 1〕「慢性 GVHD の病態生理と分子標的薬」

〔講演 2〕「慢性 GVHD の二次治療」

演者：〔講演 1〕 仲宗根 秀樹 (自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科)

演者：〔講演 2〕 横山 洋紀 (東京慈恵会医科大学附属病院 腫瘍・血液内科)

共催：ヤンセンファーマ株式会社

リンパ腫① 10:00 ~ 10:50

第 2 会場

座長：丸山 大 (がん研究会有明病院 血液腫瘍科)

27. 心タンポナーデで発症した DLBCL に POLA-R-CP 療法が著効した 1 例

酒寄 葉 (東京慈恵会医科大学附属病院 腫瘍・血液内科)

28. 胸水中に CD19, CD20 二重陰性細胞が出現したびまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫

徳田 克洋 (帝京大学医学部 血液内科)

29. Numb chin syndrome が再発診断の契機となったびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の 1 例

能登 俊 (練馬光が丘病院)

30. 橋中心髄鞘崩壊を発症した、電解質異常を伴わないびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の 1 例

北村 愛花 (東京都済生会中央病院 血液内科)

31. 手掌軟部腫瘍切除術で偶発的に診断された血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫

上村 悠 (虎の門病院分院 血液内科)

座長：伊豆津 宏二（国立がん研究センター中央病院）

32. 末梢性 T 細胞リンパ腫患者における CHOP 療法後の放射線療法の意義
寺本 由加子（がん研究会有明病院 血液腫瘍科）
33. ITP として加療中に急激な経過をたどった T 細胞性リンパ腫の 1 例
大嵯 太郎（横浜労災病院 血液内科）
34. 神経浸潤を伴う難治性急性型 ATL に Valemetostat が奏効した 1 例
徳山 孝範（東京大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科）
35. 心移植後 PTLD の胸髄再発に対し R-MPV 療法が奏効した 1 例
齋藤 晟太郎（東京大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科）
36. 再発古典的ホジキンリンパ腫に対するニボルマブ投与中に低悪性度 B 細胞リンパ腫を
発症した 1 例
松本 菜々（日本医科大学 血液内科）
37. Brentuzimab vedotin 投与後に無菌性髄膜炎を発症した古典的ホジキンリンパ腫
河合 恵史朗（山梨大学医学部 血液・腫瘍内科）

座長：鈴木 一史（東京慈恵会医科大学附属病院 腫瘍・血液内科）

座長：安藤 美樹（順天堂大学大学院医学研究科 血液内科学）

〔講演 1〕「初発移植非適応多発性骨髄腫の治療戦略と継続治療の重要性」

〔講演 2〕「再発難治性骨髄腫治療の潮流—ASH2023 を振り返って—」

演者：〔講演 1〕津島 隆史（成田赤十字病院 血液腫瘍科）

演者：〔講演 2〕塚田 信弘（日本赤十字社医療センター 血液内科）

共催：ヤンセンファーマ株式会社

座長：鈴木 一史（東京慈恵会医科大学附属病院 腫瘍・血液内科）

38. Dasatinib 関連リンパ増殖性疾患を発症した慢性骨髄性白血病
戸塚 紀帆（東京医療センター）
39. CML に対して bosutinib 使用中に胸水貯留を初発症状として発症した DLBCL
佐藤 耕平（東京慈恵会医科大学附属病院 腫瘍・血液内科）
40. トシリズマブが著効した重症間質性肺炎を伴う特発性多中心性キャスルマン病の 1 例
小山 玄太郎（千葉労災病院 腫瘍血液内科）
41. 透析膜で無顆粒球症をきたした症例
渡邊 みれあ（日本医科大学付属病院 血液内科）

42. NATT により C.difficile 感染症の診断をした, EBV 関連リンパ増殖性疾患の 1 例
生田目 珠鳳 (東京大学医学部附属病院 総合研修センター)

ティータイムセミナー 2 15:30 ~ 16:20

第 2 会場

座長: 田村 秀人 (獨協医科大学埼玉医療センター 糖尿病内分泌・血液内科)

[PTCL の治療方針と新規薬物治療の選択]

演者: 下山 達 (がん・感染症センター東京都立駒込病院 腫瘍内科)

共催: 日本化薬株式会社

リンパ腫③ 16:30 ~ 17:20

第 2 会場

座長: 田岡 和城 (東京大学医学部附属病院 希少難病疾患治療開発実践講座)

43. 中枢神経原発悪性リンパ腫に対するチラブルチニブ投与中に中枢神経外再発をきたした 1 例

伊佐 迅平 (市立川崎病院 内科・総合内科)

44. 昏睡と Cushing 反射を伴う DLBCL 脳内再発に tirabrutinib の簡易懸濁液が奏効した症例

土蔵 太一郎 (横浜南共済病院 血液内科)

45. 血管免疫芽球性 T 細胞リンパ腫の化学療法中に続発した中枢神経 EBV 陽性びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫

倉地 萌黄 (さいたま赤十字病院 血液内科)

46. DLBCL 中枢神経再発に先行して発症した Bickerstaff 脳幹脳炎

石川 拓斗 (自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科)

47. ICANS と鑑別が困難であった CAR-T 細胞療法後早期の悪性リンパ腫中枢神経浸潤

佐々木 優弥 (東京医科歯科大学 血液内科)

リンパ腫④ 17:30 ~ 18:20

第 2 会場

座長: 関口 直宏 (災害医療センター 血液内科)

48. G-CHOP 療法中に繰り返し肉眼的血尿を呈し, IgA 腎症合併が判明した濾胞性リンパ腫の 1 例

浜野 しずか (横須賀共済病院 血液内科)

49. SARS-CoV-2 ワクチン接種後, 一過性の病変増大を来した濾胞性リンパ腫 (FL) の 1 例

吉澤 遼 (群馬大学大学院医学系研究科 内科学講座 血液内科学分野)

50. R-MPV 療法が奏効した急速に進行する Bing-Neel 症候群

李明萱 (日本医科大学付属病院 血液内科)

51. Rituximab 単剤療法が奏効した中枢神経原発 low-grade B-cell lymphoma

富田 直人 (聖マリアンナ医科大学 血液・腫瘍内科学)

52. 左肺全摘後の慢性膿胸から生じた膿胸関連リンパ腫 (PAL) に対し, 化学放射線療法が奏効した 1 例

土蔵 太一郎 (横浜南共済病院 血液内科)

イブニングセミナー 2

18:30 ~ 19:20

第 2 会場

座長: [講演 1] 工藤 大輔 (東京北医療センター 血液内科)

座長: [講演 2] 半田 寛 (群馬大学医学部附属病院 血液内科)

[講演 1] 「移植適応患者における Isatuximab の位置付け」

[講演 2] 「移植非適応患者における Isatuximab の位置付け」

演者: [講演 1] 長尾 陸 (東京慈恵会医科大学附属柏病院 腫瘍・血液内科)

演者: [講演 2] 堀米 佑一 (北里大学大学院医療系研究科 血液内科学)

共催: サノフィ株式会社

モーニングセミナー 3

9:00 ~ 9:50

第 3 会場

座長: 中島 秀明 (横浜市立大学医学部 血液・免疫・感染症内科学)

「インヒビター保有先天性血友病患者の治療に関する Up to date」

演者: 長江 千愛 (聖マリアンナ医科大学 小児科学教室)

共催: ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

急性白血病

10:00 ~ 10:50

第 3 会場

座長: 脇田 知志 (日本医科大学 血液内科)

53. 中枢神経再発後に長期生存が得られた inv(16) (p13.1q22) CBFβ-MYH11 を伴う AML

國定 浩大 (日本赤十字社医療センター)

54. 末梢血液中の好酸球が著明に増加した inv(16) (p13.1q22) を伴う急性骨髄性白血病

石井 徹 (埼玉医科大学病院 臨床研修センター)

55. 球後視神経炎で発症し失明に至った急性前骨髄球性白血病 (APL) 中枢神経再発の 1 例

望月 泰孝 (東京慈恵会医科大学附属第三病院 腫瘍・血液内科)

56. 急性骨髄性白血病随外病変にベネトクラクス・アザシチジン療法が有効だった 2 例

石丸 海 (虎の門病院 血液内科)

57. 間歇的血液透析下でポナチニブを投与した Philadelphia 陽性急性リンパ芽球性白血病の 1 例

坂本 靖宜 (横浜市立大学附属病院 薬剤部)

座長：三浦 勝浩（日本大学医学部附属板橋病院 血液・腫瘍内科）

58. ベンダムスチン・オビヌツズマブ併用療法後に赤芽球癆が持続した濾胞性リンパ腫の2例

石井 敬大（東京慈恵会医科大学附属病院 腫瘍・血液内科）

59. Genomic features of histiocytic neoplasms in adult

佐藤 亜紀（東京大学医科学研究所附属病院 血液腫瘍内科）

60. PWCA を伴って発症した Good 症候群の1例

西崎 由希子（同愛記念病院 臨床研修医）

61. 壊疽性膿皮症を合併したくすぶり型骨髄腫に対し化学療法を行い皮膚症状が改善した1例

柳田 拓郎（北里大学 血液内科学）

62. 有毛細胞白血病とエルドハイム・チェスター病とランゲルハンス組織球症の合併を認めた症例

於保 崇史（東京大学医学部附属病院 血液内科）

63. 肺胞蛋白症の経過観察中に DLBCL を発症，化学療法後にリンパ腫とともに肺胞蛋白症も寛解となった1例

雨宮 咲織（杏林大学医学部 血液内科）

座長：丸山 大（がん研究会有明病院 血液腫瘍科）

「慢性リンパ性白血病の治療戦略と Onco-cardiology」

演者：郡司 匡弘（東京慈恵会医科大学附属第三病院）

共催：アストラゼネカ株式会社

座長：土橋 史明（東京慈恵会医科大学附属第三病院）

64. カルフィルゾミブ長期投与後に血栓性微小血管障害をきたした1例

小田 卓弥（筑波大学附属病院 血液内科）

65. 免疫チェックポイント阻害剤治療中の血小板減少が最終投与1年後に再燃した1例

荒井 俊也（東京警察病院 血液内科）

66. ニボルマブの使用後に再生不良性貧血を発症した再発古典的ホジキンリンパ腫

川先 康太（防衛医科大学校病院 血液内科）

67. Dasatinib による可逆性後白質脳症症候群（PRES）を呈した急性転化期慢性骨髄性白血病

田中 康平（日本医科大学付属病院 血液内科）

68. Daratumumab 治療中に可逆性急性白質脳症をきたした症例

長島 正堯 (深谷赤十字病院 血液内科)

ティータイムセミナー3 15:30～16:20

第3会場

座長: 照井 康仁 (埼玉医科大学病院 血液内科)

「再発・難治性 DLBCL に対する新たな治療戦略」

演者: 棟方 理 (国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科)

共催: ジェンマブ株式会社/アッヴィ合同会社

感染症

16:30～17:20

第3会場

座長: 藤田 浩之 (済生会横浜市南部病院 血液内科)

69. 形質細胞性白血病に対して DRd 療法中に発症したサイトメガロウイルス網膜炎

耕納 飛鳥 (横須賀共済病院 血液内科)

70. IgM と sIL-2R の乖離を契機に CMV 感染症が診断された原発性マクログロブリン血症の1例

山内 啓太 (JCHO 東京山手メディカルセンター 血液内科)

71. 初発 DLBCL に対する Pola-R-CHP 療法後に再燃を繰り返したサイトメガロウイルス抗原血症の1例

武井 寿史 (公立藤岡総合病院 血液内科)

72. 非特異的症状で発症し、診断に難渋した濾胞性リンパ腫治療後サイトメガロウイルス (CMV) 感染症の1例

喜屋武 慶尚 (総合病院国保旭中央病院 血液内科)

73. 播種性淋菌感染症を発症した ravulizumab 治療中の発作性夜間ヘモグロビン尿症の1例

林 泰儀 (慶應義塾大学医学部 血液内科)

貧血・出血性疾患②

17:30～18:20

第3会場

座長: 西脇 嘉一 (東京慈恵会医科大学附属柏病院)

74. 骨髄異形成症候群に合併した後天性血友病 A の1例

平井 智大 (慶應義塾大学医学部 血液内科)

75. 多発性骨髄腫に合併した後天性血友病 A に対し、抗骨髄腫治療を行うことで凝固能的完全寛解を得た1例

小田 祐貴 (日本赤十字社医療センター 血液内科)

76. 高齢発症の後天性血友病 A に対して免疫抑制療法を行わずにエミシズマブを用いて治療した1例

岡本 健人 (総合病院国保旭中央病院 血液内科)

77. 高齢発症の後天性血友病 A に対してエミシズマブを使用した 2 症例

坂田 憲幸 (埼玉医科大学総合医療センター 血液内科)

78. 繰り返す消化管出血に対して第Ⅶ因子定期補充で出血予防できた先天性第Ⅶ因子欠乏症

遠藤 聖英 (日本大学医学部附属板橋病院 血液腫瘍内科)

イブニングセミナー 3 18:30 ~ 19:20

第 3 会場

座長: 片岡 圭亮 (慶應義塾大学医学部 血液内科)

「PNH 治療の変遷と今後の展望」

演者: 後藤 明彦 (東京医科大学 血液内科学分野)

共催: アレクシオンファーマ合同会社

Closing Remarks 19:20 ~ 19:25

第 1 会場

矢野 真吾 (東京慈恵会医科大学附属病院)